

# 第 11 回教育委員会（定例）議事録

## 1. 開 会

令和 2 年 11 月 24 日（火） 14 時 00 分

## 2. 場 所

市役所本庁舎 4 階 401・402 会議室

## 3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 山本 恭子

## 4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次長兼教育研究所長 酒井 宏

教育総務課長 中野 悟

学 事 課 長 森本 康幸

学校教育課長 尾松 直樹

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 石田 哲也

文化財課長 村上 由樹

中央図書館館長 樋口 裕昭

田園交響ホール館長 小林 純一

こども未来課長 中筋 有香

総 務 課 長 波部 正司

教育研究所副所長 方山 直人

教育総務課係長 田中 真紀子

教育総務課主事 河野 元秀

## 5. 議事日程及び議案

別紙の通り

## 6. 開会宣言

14 時 02 分

## 7. 会 期

（自）令和 2 年 11 月 24 日

（至）令和 2 年 11 月 24 日 1 日間

## 8. 会議録署名委員名簿

山本 委員

## 9. 閉 会

15 時 42 分

|       |   |
|-------|---|
| 前川教育長 | 日程第 1、令和 2 年度第 10 回会議録の報告、承認について意見等はないか。  |
| 全委員   | 異議なし。   |
| 前川教育長 | 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。  |
| 前川教育長 | 日程第 2、会議録署名委員は 4 番山本委員とする。  |
| 前川教育長 | 日程第 3、会期は令和 2 年 11 月 24 日、本日 1 日間とする。   |
| 前川教育長 | 日程第 4、議案に移る。議案第 1 号の「丹波篠山市副食費補助事業実施要綱の制定について」こども未来課説明を求める。  |
| 中筋課長  | 《議案書に基づき説明》   |
| 中村委員  | 説明いただいたが、内容が細かすぎて分かりにくい。良いことをしているのにお得感を感じないので、市民が分かりやすいように図で示すなど説明方法を考えてほしい。また、多く子どもがいる世帯で補助を受けられるように設定しているが、全ての子育て世代がお得感を感じるような制度も考えていただけたら嬉しい。                        |
| 中筋課長  | 世帯の子どもの数については、国の制度では補助対象とならない世帯が、今回制定する要綱では補助対象となるようにしており、子育て世帯のメリットになる制度である。   |
| 酒井委員  | 中村委員と同じで分かりにくい印象を受けた。分かりやすいアピールをしなければ意味がないと思う。子育て支援の取り組み状況が近隣市と比較してどうなのかを市民に伝えていけば、丹波篠山市の頑張りも理解してもらえと思う。<br>子育て支援に力を入れるのであれば、予算で半額といわず、次年度は全額免除をするなどという議論も必要なのではないだろうか。 |
| 中筋課長  | 県内のすべての市を調査しているわけではないが、市単独で補助事業をしているのは少なく先進的な取り組みであると思う。<br>子育て支援に力を入れていきたいが、全額を免除することは財政状況や保護者が在宅で子育てをしている世帯との公平性を考えると難しいと考える。   |
| 酒井委員  | 先ほど説明をされたように県内の様子や近隣他市との比較を入れて説明をすると市民も理解して納得してくれると思うので工夫してほしい。<br>内容に不満や意見があるわけではないので、しっかりと分かりやすい説明の方法を検討して、子育て支援に役立ててほしい。   |
| 山本委員  | 交付申請は自身で行わなければならないと思うが、外国の方など申請が必要な場合はどのように対応する予定か。第 8 条の代理受領および代理申請で定めているように、そのあたりは各園が代理で対応するという認識で良いか。  |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 中筋課長<br>垣内委員          | その通りである。<br>他の委員と同様に、分かりやすい説明を行えば市民にも理解してもらえ<br>と思う。  |
| 前川教育長<br>全委員<br>前川教育長 | 議案第 1 号「丹波篠山市副食費補助事業実施要綱の制定について」異議は<br>ないか。<br>異議なし。<br>全員賛成で、議案第 1 号の「丹波篠山市副食費補助事業実施要綱の制定に<br>ついて」を可決する。   |
| 前川教育長                 | 議案第 2 号の「令和 2 年度 12 月補正予算案を市長に提出することについ<br>て」教育総務課説明を求める。   |
| 中野課長                  | 《議案書に基づき説明》   |
| 山本委員                  | 東部学校給食センターの県産和牛肉に関する事業について詳細を教えてほ<br>しい。  |
| 酒井所長                  | 県内の和牛肉業者が新型コロナにより影響を受けて経済的に困窮すること<br>に対して、給食で和牛を使用して支援をするものである。国、県の事業であ<br>る。   |
| 酒井委員                  | 会計年度任用職員の一時金の減額は、人事院勧告を参考にしての対応であ<br>るのか。   |
| 稲山部長                  | 市職員の一時金の減額については、11 月 30 日に開かれる臨時議会にて決<br>定する予定である。<br>県費教職員については、県議会の議決を受けてそれに応じて対応すること<br>になる。   |
| 酒井委員                  | 人事院勧告、県の対応に従う必要はないのではないかと。正職員と比較して<br>支給が少ないことに加え、コロナ禍で頑張っているにもかかわらず、一時金<br>まで減額することは酷なように感じる。  |
| 稲山部長                  | 11 月 30 日に開催予定の議会では、市職員、市議会議員、特別職の一時金<br>を減額することが議案として上程される予定である。会計年度任用職員も市<br>職員であるため、それに当てはめ一時金が減額される予定である。財政状況<br>等も考えると今回の対応を取ることは致し方ないように考えるが、このよう<br>な意見があったことは財政部局等に繋ぎたいと思う。 |
| 酒井委員                  | 会計年度で区切られる雇用形態で不安感もあると思う。丹波篠山市で頑張<br>りたいという思いを持ってもらえるように、減額しないようなことも検討し<br>てほしい。  |
| 酒井所長                  | 学校給食センターの微酸性電解水生成装置の導入で、西部学校給食センタ<br>ーと東部学校給食センターで金額が違う理由を教えてください。<br>各学校給食センター間で施設設備が異なり、配管等長さなどの関係から金   |

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <p>酒井委員<br/>酒井所長</p>                | <p>額が異なる。<br/>微酸性電解水は新型コロナウイルス感染症にも効果があるのか。<br/>確実に効果があるということは発表されていない。</p>  |
| <p>前川教育長<br/><br/>全委員<br/>前川教育長</p> | <p>議案第2号「令和2年度12月補正予算案を市長に提出することについて」異議はないか。<br/>異議なし。<br/>全員賛成で、議案第2号の「令和2年度12月補正予算案を市長に提出することについて」を可決する。</p>   |
| <p>前川教育長</p>                        | <p>議案第3号の「令和3年度公立学校教職員異動方針について」学校教育課説明を求める。</p>  |
| <p>尾松課長</p>                         | <p>《議案書に基づき説明》</p>   |
| <p>酒井委員</p>                         | <p>人材育成の観点で、市内の学校は単学級が多く新人教諭が育ちにくいなど地域に応じた事情があるので配慮した異動としてほしい。また、小学校、中学校それぞれに良さがある。可能であれば管理職だけではなく、教諭も校種間での人事交流を実施することを検討して、それぞれの良さを引きだしてほしい。<br/>積極的な若手管理職、女性管理職の登用とあるが、現在の管理職の年齢と目標値および女性管理職の割合と目標値を教えてください。</p> |
| <p>尾松課長</p>                         | <p>校種間での人事交流は意見の通りで有効であると考えているが、本人の希望や適性もあるので、すぐには実施ができないが前向きに検討したい。<br/>若手管理職、女性管理職の登用について、市で具体的な数値目標までは定めていない。しかし、県で設定している目標値があるので参考にしていきたい。<br/>管理職の年齢について、令和2年度の末時点で小学校長57.1歳、教頭50.7歳、中学校長58.5歳、教頭50歳である。</p>  |
| <p>酒井委員</p>                         | <p>女性の小学校教諭は多いにもかかわらず、女性の管理職が少ないことは何か原因があると思う。女性管理職の積極的な登用をお願いしたい。</p>   |
| <p>前川教育長<br/>全委員<br/>前川教育長</p>      | <p>議案第3号「令和3年度公立学校教職員異動方針について」異議はないか。<br/>異議なし。<br/>全員賛成で、議案第3号の「令和3年度公立学校教職員異動方針について」を可決する。</p>   |
| <p>前川教育長</p>                        | <p>議案第4号の「みどり賞の被表彰者の決定について」教育総務課説明を求める。</p>  |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 中野課長                  | 《議案書に基づき説明》  |
| 中村委員                  | 三宅剣龍賞・みどり賞が子どもたちの励みになっていると聞く。コロナ禍で大会がなくなったことは残念だが、来年度にたくさんの子供が活躍して受賞されることを願う。  |
| 前川教育長<br>全委員<br>前川教育長 | 議案第4号「みどり賞の被表彰者の決定について」異議はないか。<br>異議なし。<br>全員賛成で、議案第4号の「みどり賞の被表彰者の決定について」を可決する。  |
| 前川教育長                 | 議案第5号の「三宅剣龍賞被表彰者の決定について」文化財課説明を求め<br>る。  |
| 村上課長                  | 《議案書に基づき説明》  |
| 前川教育長<br>全委員<br>前川教育長 | 議案第5号「三宅剣龍賞被表彰者の決定について」異議はないか。<br>異議なし。<br>全員賛成で、議案第5号の「三宅剣龍賞被表彰者の決定について」を可決<br>する。  |
| 前川教育長                 | 日程第5、承認事項に移る。承認第1号「丹波篠山市放課後児童健全育成<br>事業の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」こ<br>ども未来課説明を求め<br>る。  |
| 中筋課長                  | 《議案書に基づき説明》  |
| 前川教育長<br>全委員<br>前川教育長 | 承認第1号の「丹波篠山市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例施<br>行規則の一部を改正する規則の制定について」異議はないか。<br>異議なし。<br>全員賛成で、承認第1号の「丹波篠山市放課後児童健全育成事業の実施に<br>関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」を承認する。 |
| 前川教育長                 | 日程第6、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」教育総務課報告を<br>求め<br>る。   |
| 田中係長                  | 《議案書に基づき報告》  |
| 前川教育長                 | 報告2「後援名義の承認について」教育総務課報告を求め<br>る。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 田中係長         | 《議案書に基づき報告》  |
| 前川教育長        | 報告 3「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課報告を求める。   |
| 尾松課長         | 《議案書に基づき報告》  |
| 酒井委員         | 問題行動等については、別途詳細な報告を受けている。今後も引き続き学校現場と連携しながら対応にあたってほしい。   |
| 前川教育長        | 教育委員会と現場の情報共有が解決に非常に重要である。今後も事務局と学校現場で密な連携を取りながら対応にあたりたい。  |
| 前川教育長        | 報告 4「令和 2 年度 11 月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課報告を求める。  |
| 尾松課長         | 《議案書に基づき報告》  |
| 前川教育長        | 報告 5「小中学校児童・生徒及び指導者用コンピュータ購入契約について」学事課報告を求める。  |
| 森本課長         | 《議案書に基づき報告》  |
| 酒井委員<br>酒井次長 | 落札業者である株式会社堀通信について、所在地等の情報を教えてほしい。本社は福知山市で大阪市にも拠点を置く企業である。学校のコンピュータ室のコンピュータ整備も担っていただいた企業である。ネットワーク、ICT 整備において実績のある企業である。 |
| 酒井委員         | 多額のお金が動くことになると思うので市内の業者が関われば、丹波篠山市に少しでもお金が回ると思い質問した。   |
| 稲山部長         | 参考情報として、本件の入札では、市内業者および市外の実績のある業者で 22 社を指名し、うち 2 社が入札に参加した。その結果、株式会社堀通信が落札した。  |
| 前川教育長        | 報告 6「東京 2020 オリンピック・パラリンピック聖火リレー・ホストタウン事業について」社会教育課報告を求める。   |
| 小林課長         | 《議案書に基づき報告》  |
| 山本委員         | コロナ禍であるが ICT を活用して海外と交流を検討しているとのことで、今後の取り組みが非常に楽しみである。<br>少し話題が変わるが、先日のスポーツの日、ミニ駅伝でも多くの市民が参                              |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>加していた。暗い話題が多い世の中だが、スポーツが人々に与える影響の大きさを感じた。今後もスポーツの良さを伝える取り組みを引き続き行ってほしい。</p>  |
| 前川教育長 | <p>報告 7「丹波篠山市文化財保存活用地域計画の進捗報告について」文化財課報告を求める。</p>   |
| 村上課長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 垣内委員  | <p>先進的な取組であると思う。丹波篠山らしさを残しつつ、引き続き頑張ってもらいたい。</p>   |
| 前川教育長 | <p>報告 8「第 15 回全国学校給食甲子園の第 4 次審査及び決勝大会について」東部学校給食センター報告を求める。</p>   |
| 酒井所長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 中村委員  | <p>去年に引き続き給食甲子園の活躍、事務局の頑張りに感謝する。決勝大会も頑張ってもらいたい。</p>   |
| 酒井所長  | <p>年間を通して、丹波篠山産の食材提供ができるように農都創造部と連携してもらいたい。そのための食材の保管方法についても検討してもらいたい。</p> <p>今回の給食甲子園では丹波栗を活用しているが、これは栗生産団体に協力いただき提供している。また、お米についても農都環境課と協力して「農都のめぐみ米」という丹波篠山独自のお米を使用している。</p> |
| 石田所長  | <p>補足となるが、12月5日の決勝大会は、オンラインでのコンテスト、表彰式をパブリックビューイング的な場を設けたいと考えている。</p> <p>食材保管について、各生産団体にも意向確認して、貯蔵施設があればそれに合わせて生産を行っていくとの回答を得ている。設置場所等の詳細な協議はまだできていないが、今後詰めていきたい。</p>           |
| 前川教育長 | <p>報告 9「教育長報告」をする。</p> <p>それでは、第 11 回定例教育委員会をこれで終了する。</p>   |